

ラオスの情報

他の国に比べて、格段に状況が悪い。

図書館

ラオス国立図書館 (The National Library of Laos)

(<http://nationallibraryoflaos.net/en/home/>) (2016年12月に移転)

ラオス語、英語、フランス語の文献。資料の件数は少ない。年会費を払えば貸出可能。

オンライン化はしていない。新聞や雑誌あり。マイクロ化は進んでいない。

コピーや写真撮影は、最近の情報の確認要。仏領期希少図書デジタル化中

ラオス国立大学(National University of Laos)中央図書館

修士論文、博士論文の閲覧可能 (製本された論文のコーナーあり)

修士論文、博士論文：2015年からCDによる納本開始 (リポジトリ構築中で閲覧不可)

情報文化省資料室

革命期からのラオス語新聞・雑誌あり。コピー、写真撮影可

ラオス国立農林業研究所図書室

ラオス語、英語、タイ語の関連資料あり。

フランス極東学院ラオス支部図書室 (<https://www.efeo.fr/blogs.php?bid=21&l=EN>)

オンライン図書室

<http://lao44.org/>

開発関係のダウンロード可能な報告書などが豊富。

本屋

ラオス国立図書館1階の書店

Monument Books (シームアン寺近辺) (英語の本、ラオス語の本)

古本屋

街中にラオス語の本の古本屋はあるが閉店したり、不定期開店だったり。(リクエストすれば探し出してくれる場合もある。)

オンラインでの購入：不可能

新聞

Pasason (ラオ語) (<http://www.pasaxon.org.la>) : 人民革命党機関紙

Vientiane Mai (ラオ語) (<https://www.vientianemai.net>): ビエンチャンに出回る党機関紙

Vientiane Times (英語) (<http://www.vientianetimes.org.la>) : 党機関紙

国家による検閲、フェイクニュース

出版物：事前検閲。新聞、テレビで流されている情報も政府による事前検閲
フェイスブックなどオンラインで情報のほうが正確な可能性大。
フェイクニュースも存在し、オンライン情報のチェックもしている。